

## 風を感じる読み聞かせ

### 自然の中で絵本ウォーク

「親子で楽しむ絵本ウォークin平筒沼」(おおきな木主催、佐竹美香代表)が6月12日、平筒沼ふれあい公園のひょうたん島とYOUYOU館で開かれました。

ひょうたん島では、遊歩道に設置された大型版の絵本を読み進めながらウォーキングも楽しめる絵本ウォーク、YOUYOU館では木のおもちゃ広場や身の回りの不思議を体験できるかがく講座が開かれました。家族で訪れた千葉佳恵さん(32)＝追町永田＝は「青空の下で風の音や沼などの自然を感じることができました。会場は小さな子どもが一周するのにちょうど良い広さ。家族で自然を満喫しました」と話しました。



絵本の世界に入り込んだかのような会場を巡りながら、子どもたちは弾けるような笑顔で物語を楽しんでいました。

## 元気に大きく育て

### 北上川にヤマメ稚魚放流

「ヤマメの稚魚の放流」は6月2日、登米水辺プラザ船着場で行われ、登米北上こども園と登米幼稚園の園児39人が約4000匹のヤマメの稚魚を北上川に放流しました。

ヤマメの稚魚の放流事業は、1988(昭和63)年から行われ、今年で33回目。北上川の豊かな自然環境と水資源を受け継ぎ、次代を担う子どもたちに水の大切さを伝えるため、水道週間の一環として実施しています。参加した園児たちは、3～5匹の稚魚が入ったバケツを手に「大きくなあれ」と声を掛けながら、そっと川へ送り出しました。



園児たちは、放流後に元気に水の中を泳ぎ出したヤマメの稚魚を見て目を輝かせていました。

## 水辺の生き物を学ぶ

### 新田の自然と魅力を講演

講演会「新田の自然と魅力について」(新田地区コミュニティ推進協議会主催、星勘司会長)は6月25日、新田公民館で開かれ、地域住民30人が受講しました。

講演会は、むかい＊いきもの研究所＝仙台市＝代表の向井康夫氏を講師に迎え、多様な生き物が生息する豊かな水辺環境が保たれている新田地区の魅力について、講話と実際に水田にいる小さな生き物を観察することで学びました。伊藤大翔さん(11)＝追町大浦＝は「初めて見る生き物や、見たことがあるけれど名前が分からなかった生き物のことを知ることができてうれしかった」と話しました。



「これは何という生き物だろう」「貝やエビもいるよ」観察体験では、大人も子どもたちも一緒に盛り上がりました。

## 笑顔広がる交流の輪

### 米谷で子どもの遊び体験

「ジュニアリーダーと遊ぼう!!」(米谷地域づくり推進協議会主催、秋葉茂雄会長)は6月11日、米谷公民館で開かれ、米谷地区の児童10人が参加しました。

ジュニアリーダーとの交流は、遊びを通して自主性や協調性を育むことを目的に企画。参加した児童たちは、館内に設置されたクイズを協力して解いたり、ダンスやゲームを楽しんだりしました。ジュニアリーダーの山口末夢さん(16)＝東和町米川4区＝は「久しぶりのイベントなので少し緊張しましたが、児童たちの楽しそうな笑顔が見られて良かったです。次は私たちが主催するイベントにも参加してほしい」と話しました。



ジュニアリーダーが手本となりダンスを指導。児童たちはすぐに振り付けを覚え、友達と元気にダンスを踊りました。

## 登米の伝統に触れる

### 森舞台で登米能体験学習

登米中学校の「登米能体験学習」(千葉純子校長、生徒85人)は6月29日、伝統芸能伝承館森舞台で開かれ、3年35人が地域に伝わる登米能を体験しました。

体験学習は、地域の伝統芸能の学習を通して、ふるさとの伝統や郷土を大切にすることを目的に開催。生徒たちは、登米謡曲会の皆さんの指導のもと能の歴史や謡い、衣装の着付けなどを体験しました。生徒代表の金田淳史さんは、「江戸時代から地域に伝わる能に触れ、普段の生活では体験できない貴重な時間を過ごすことができました。地元の伝統芸能を改めて学習し、理解が深まりました」と笑顔で話しました。



2人の生徒が代表して衣装の着付けを体験。始めは戸惑っていましたが徐々に慣れ、堂々としたポーズをとっていました。

## コロナの収束を祈願

### 石越で南部神楽共演大会

「第16回神楽共演石越大会」(同実行委員会主催、工藤貞夫実行委員長)は6月12日、石越体育センターで開かれ、岩手県一関市など市内外から10団体が出演し伝統神楽を披露しました。

大会は、宮城県北・岩手県南地方に伝わる「南部神楽」を継承するため、石越町の赤谷神楽と長下田神楽両保存会が実行委員会を組織し、開催してきました。新型コロナの影響で3年ぶりに開かれた大会会場には、再開を待ちわびた約150人の観客が訪れ、勇壮な舞いに魅了されました。実行委員は、「これからも南部神楽の普及と保存に力をささげていきたい」と話しました。



鮮やかな衣装をまとった演者が太鼓と鉦のはやしに合わせて演じる迫力ある舞いに、会場から大きな拍手が沸き起こりました。